

令和5年度 自己評価・園関係者評価報告書

学校法人 海山学園 認定こども園

追分幼稚園附属追分ベビー園

- 1 本園の教育目標
 - 自ら生き生きと活動する子の育成
 - 感じたこと、考えたことを素直に表現する子の育成
- 2 目指す子供像
 - ・健康で明るい子ども 〈 健康 〉
 - ・自分で考え、自ら行動し、やり抜く子ども 〈 主体性 〉
 - ・感じたこと、考えたことを素直に表現する子ども 〈 表現力 〉
 - ・友達と遊び、思いやりのある子ども 〈 思いやり 〉
- 3 本年度の重点目標、計画
 - (1) 安全、安心な教育環境の整備、充実
 - (2) (新) 幼稚園教育要領、保育指針の主旨を活かした教育・保育活動の充実
 - (3) 開かれた園経営と組織的な対応の充実
- 4 評価項目の達成及び取り組み状況

A 十分に成果があった B 成果があった C 成果が少なかった D 成果がなかった

	評価項目	評価	取り組み状況
1	安心・安全な教育環境を整備する	B	定期的に全職員で安全点検と安全会議を行い、また保護者からの意見も取り入れ、改善や修理すべき部分について検討し見直し・整備を進めてきた。
2	教育・保育の質を高めるために効果的に園内研修する	A	県の私立幼稚園連合会の研究会に参加しそのテーマに基づいた園内研修を行い自園の保育を振り返ったり、潟上市内の保育園の公開保育に参加するなどし教育・保育の質の向上を図った。
3	一貫した指導ができるよう園内連携体制を整備する	A	0歳～5歳までの継続・連続した教育・保育を充実させるため、「育ちの全体計画」を見直し、教職員で共通理解するよう話し合った。

5 総合的な評価結果

評価	理由
B	教職員の誰もが研修に参加できる体制を整え、お互いに協力し合うことで連携の意識も高まってきた。教職員ひとりひとりが子どもたちのためにどのように保育したいのかを考え進めていくことで、質の高い教育・保育を目指し意欲も高まってきた。

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	組織見直し	0歳～5歳までの継続・連続した教育保育の更なる充実のため、幼稚園側とベビー園側との境なく、効果的な人事配置や組織の見直しを行っていく。またこのことにより円滑な分掌部の機能化を図る。
2	安全管理	年3回だった避難訓練は毎月行い、園バスには置き去り防止システムを設置したほか園児自らが助けを求める緊急時訓練を取り入れるなど改善を図った。防犯面では各玄関の施錠とインターフォンの設置を試みたが不十分であり検討が必要である。
3	研修	7月初めの公開保育を毎年位置づけ教育・保育の質の向上を図る。キャリアアップ研修の機会を増やし、また潟上市内の保育施設の公開保育や研修会に積極的に参加し、園全体のレベルアップを目指す。

7 園関係者評価委員（評議員）の方々からの意見

- ・追分地区の住宅増・幼児数の増加などの現状に対応しつつも、園の特色、良さを活かして行ってほしい。
- ・さらに安全、安心な環境と職員間の体制を整え、教育保育の充実のためより一層の研鑽を望む。

【学校評価の流れ】

- 4月 職員会議で職員に評価項目を提示
- 5月 園関係者評価委員（評議員）に評価項目を提示
- 7月 公開保育（参加者にアンケートを依頼〔職員に公開〕）
- 9月 保護者・職員にアンケートを実施
- 12月 職員会議に取組状況を報告し、今後取り組む事項等を協議・検討
- 3月 評議員会で園経営の評価を実施
- 4月 評価の結果をホームページで公表